

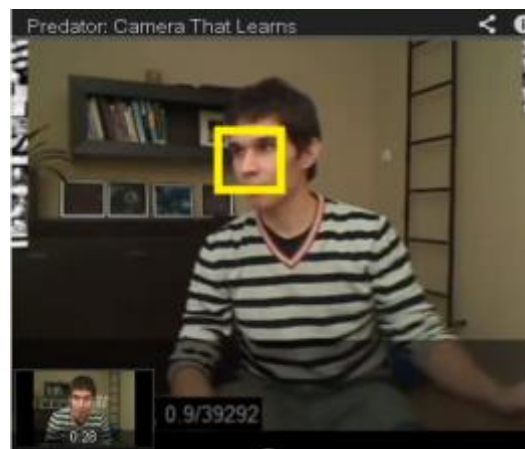
ビジョンベースのアプリケーション開発

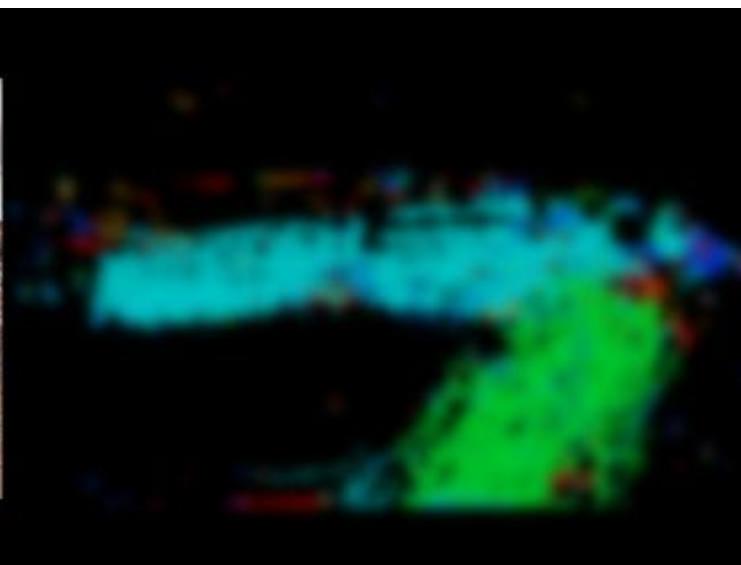
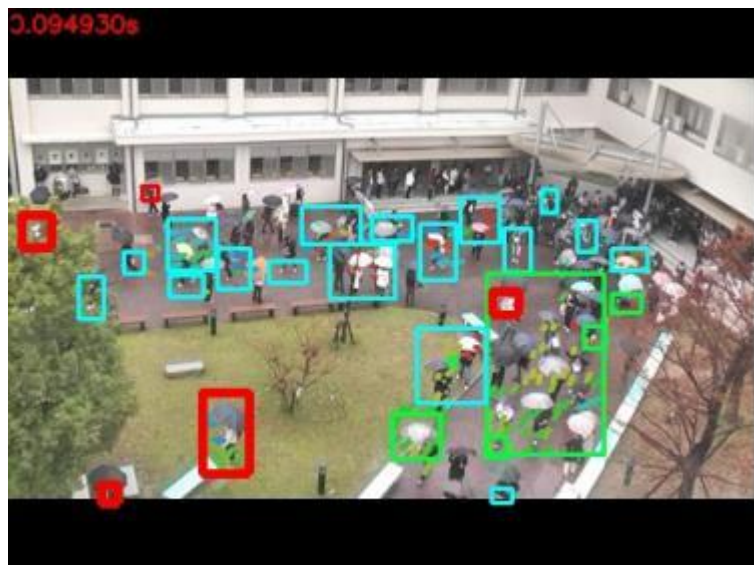
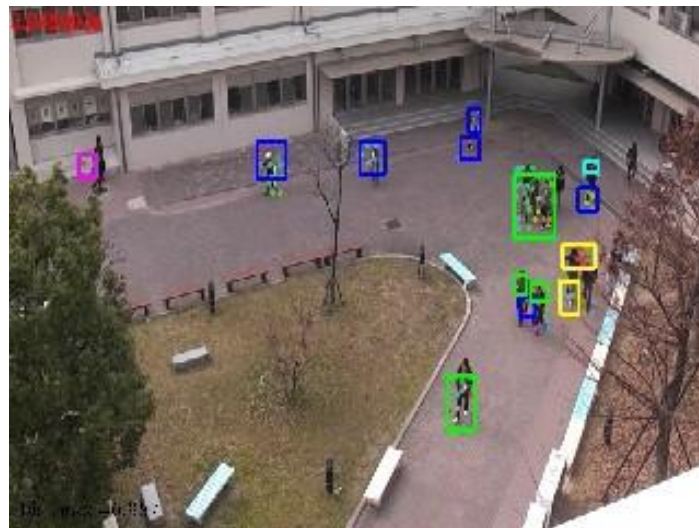
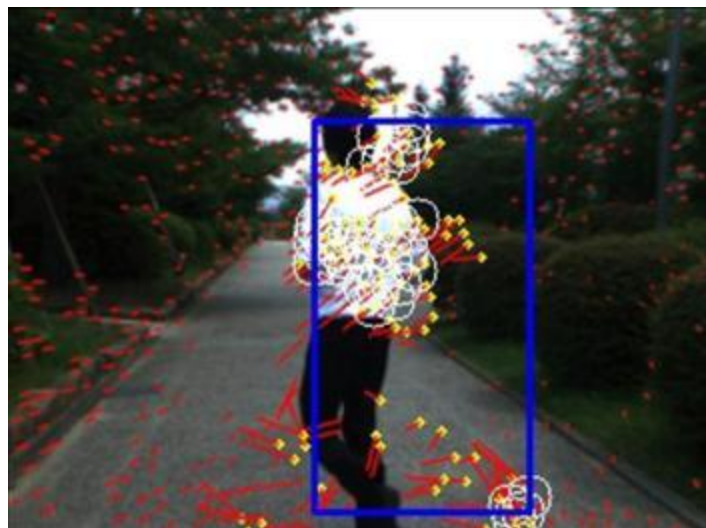
2013.01.17

- コンピュータビジョン
 - コンピュータを用いた視覚の実現
 - 英語ではComputer Vision
- 科学技術分野の一つ
 - 具体的には
 1. 「情報」を画像データから抽出
 2. 抽出した「情報」を元に新たな画像を生成して視覚を実現
- 必要な素材・機材
 - スマートフォン・Kinect・USBカメラなどの映像
 - 複数視点からの沢山の画像素材
 - 動画素材

- 複数視点画像からの3次元形状構築
 - 監視画像中の人物追跡(トラッキング)
 - カメラ画像からの物体認識(顔、人、植物など)
 - 監視映像などからの動き推定(交通や人流などの流動解析・推定)
 - 複数画像からの元画像復元(超解像、写真のレタッチなど)
 - 複数画像からのパノラマ画像作成
 - Kinectなどの深度画像を利用した人物・物体認識
 - AR(複合現実感)
 - などなど、他にも様々な事が可能です。
-
- 映画などのクロマキー合成、デジカメの顔認識、スバル(自動車)のアイサイト、Googleのストリートビュー、Kinectを用いたアプリケーションなども、画像処理による製品です。









- ラピニクスでは
 - これらコンピュータビジョンをベースとしたアプリケーション開発に取り組んでおります。
- 開発対象(コンピュータビジョン関連)
 - スマートフォンアプリケーション
 - Kinectを利用したWindowsアプリケーション
- 開発対象その他
 - システム開発全般
 - WEBサイト制作・コンサルティング
 - ソーシャルアプリケーション開発
 - スマートフォンアプリ開発